

令和4年度 市議会意見交換会「議員と語っちゃオ！！」記録 ④

日 時 : 令和4年10月21日(金) 午後7時～午後8時30分
会 場 : 諏訪市公民館
参加市民 : 14人
テ ー マ : 「地域の課題」について
実施方法 : 市民、議員を3グループに分けて意見交換・懇談後、市民による発表

1 選挙、議員について

- 選挙制度を変えるよう、国へ要望してもらいたい。
誰でも(あらゆる年代層に)立候補しやすいように、遊説等の選挙運動も含め。
- 転入者にもわかりやすい街づくり。情報が受けにくい。
- 議員は地域に無関係に出てほしい。
- 議員数は今の人数でいかなものか。
- 議員はいろいろなところに顔を出せ。
- 若い人をどう取り込むのか？リサーチしてほしい。若者も考えを持っている。
- 話を聞いてほしいが誰に言っているのかわからない。話を聞くのが議員ではないか。
議員は市民と繋がっていかないとはいけないと思う。

2 花火について

- 花火はやってもらいたい。
- 旅館組合では集客があるので分散型がいいという声があるようだ。
- 観光的には1日の大々的な花火がいい。
- 8月15日はやりすぎ、花火を上げる意味、戦没者を追悼するという本来に戻すべき。
- 花火がないとお客が来ないというのは努力が足りない。花火頼みではいけない。
- 花火はほとんど見ない。

3 区の運営について

- 区内の世代交代を図り、役員になってもらう。
- 区に入らない人が増えている、入る必要がないと言う。考えてもらいたい。
- 民生委員や日赤奉仕団の委員のなり手がいない。選出方法を見直してもらいたい。地区からの各種委員の選出は限界がきている。
- 民生委員など、高齢者が高齢者を支えるようになる。
- 子どもがいると区に入ってくる。
- 区の行事が出来ない(草刈り・祭り等)、戸数の減少、若い世代の減少、空き家の増加。
- 文化伝統の継承に不安。今年の御柱も他の地域から応援を得て行った。次回は？
- 斜面の草刈り、出払いでは高齢化で危ない。業者には地区の予算では頼めない。
- 上諏訪地区は区が多すぎる、統合し大きくするべきで、行政の関与は必須。
- 消防団員のなり手がいない。地域は誰が守るのか。

4 「ゴミ出し」の問題について

- 区に加入していない人が区で管理しているゴミステーションにゴミを捨てる。おかしい。
- 「区に入らないとごみを出せない。」と言えないのはおかしい。
- 区に加入していない人で税金を払っている人であれば、市で対処してもいいのではないか。

- ごみ出しのルールはしっかり守ってもらいたい。
- アパートを管理する不動産屋に、もっと区のことを理解してもらい協力してもらおう。

5 少子高齢化

- コロナ禍の影響
 - 人とのつながりが薄くなり、孤立。
 - ・高齢者:フレイル、介護認定者の増加。社会参加活躍の場がなくなった。認知症。ひきこもり。
 - ・若年層:不登校、ひきこもりの増加傾向。
- 高齢者の足の確保
 - ・免許返納後の移動手段
- 大学等で地元を離れるのは良いが、Uターンをしたくても働ける場所がない。子どもの働く場が必要。

6 防災・水害対策について

- ポンプの増強が必要。
- 各分団にポンプの配備。
- 諏訪湖の水位を低下させる(県・国の協力が必要)。
- 諏訪湖の水の容量を増やす対策、浚渫。
- 毎回同じ場所が浸水する。欠陥ではないのか？原因はわかっているのに予算がないと言ってやらしてもらえず、雨が降ると不安である。
- 建設課の職員も市内各所の対応に追われ、てんでこ舞いの様子である。根本的な改善の話を進めてもらいたい。
- 区の方でお願いして、浸水の原因の調査をしてもらった。お願いしてからやるのではなく水害の調査は行政でやるべきものではないか。
- 側溝は暗渠になってしまい清掃ができない。
- 停電になりポンプが動かなくなった時にはどうしたらいいのか？
- 今年も既に4軒の床下浸水の被害が発生している。短時間で大雨が降ると被害が発生し、ほぼ同じような箇所で被害が発生している。排水ポンプを作動させているが、数が足りず被害を防げないのが現状。被害を防ぐにはポンプを増設するか、各消防団に排水ポンプを備えるなど対策をしてほしい。
- 内水排除ポンプの操作には危険が伴うので講習はあるが、作動させるタイミングの指示はない。
- 水門の開閉の操作が区長に任されているが、どのような状況になったら門を閉めるのかは区長の判断に任されている。昼間は不在になるので区長では対応ができなくなる。区長が不在でも、誰もが判断できるようにマニュアルが必要。
- 水門が閉まった時には自動でポンプが作動するようにしてほしい。
- 釜口水門の計画放流をしてほしい。
- 釜口水門の計画放流を行うと船の運航に支障があると聞いているので、浚渫を行ってほしい。
- 一人暮らし高齢者や高齢者だけの世帯の方の避難訓練ができていない。

7 行政へ

- 桜が丘県営住宅の使い方、今後どのようにするのか
- 情報の提供が不足 相談窓口をワンストップで…たらい回しにされる。
- 長期的ビジョンをもって行政を行ってほしい
- 議員は確実にチェックをしてほしい。

8 障がい者支援について

- 幼少期からの関わり。
- 保育士・教師・市民の障がいへの理解の充実。
- 誰でも認められる社会。
- 視覚的支援の活用。

9 空き家対策について

- 崩れそうな空き家があるが、その対策が必要。
- 条件はあるが、解体のための補助金の活用もできる。
- 通学路の途中で解体が必要と思われる建物があるが、その対策はどうするのか。
- 空き家が多い。誰の持ち物か連絡先が知りたい。崩壊寸前の家や伸び放題の植木。

10 教育問題について

- 小中一貫校になって1年が経過する。次のステップへ進むためにもメリット・デメリット、課題をしっかりと検証してほしい。
- 今後は分離型の小中一貫校となるが、分離型で小中一貫教育のメリットはあるのか。
- 通学路の途中で危険な箇所がある。
- 高島小学校の歴史的保存が必要。
- 高島小学校の名称を取り戻す。

11 道路について

- 法務局の前の道路では、法務局に進入する車とカーブを曲がってくる車とが接触する危険があるので、その対策が必要。